

2021年 東北大学前期日程試験【英語】問題分析

1 今年（2021）の傾向

総評・講評（大問毎に）

【総評】

大問は4問構成で、長文読解が2問、会話文に基づく英問英答が1問、和文英訳が1問である。大問の構成は例年と大きく変わらない。本文の分量と解答の記述量はⅠとⅡがやや長くなったが、Ⅲは短くなり、Ⅳは大きな変化はない。難解な構文や語句はあまり見られない一方で、文章の意味を文脈に基づいて正確に理解し、和訳・英訳に反映させるには苦勞するものが多い。

【個別分析設問Ⅰ】 長文読解

出典は Alison K. Smith の “National Cuisines”。料理本が国を代表する料理をまとめ上げ、それが国民国家の形成にどのようにして寄与したかを論ずる内容。国の内部においては、それまで地域や階級によって個々別々であった食べ物を国を代表する一つの料理として提示することで、料理本はその国の市民たちに地域や階級を超えた一体感を与えた。他方、国の外部に対しても、そうした料理を国家のイメージを形成するものとして利用してきた（フランス料理がその好例）。植民地時代を経た後の国家はより複雑な国家の形成過程と相まって国を代表する料理に関しても多様な概念を持つようになる。このように、今の私たちがごく当たり前に「～料理」と呼んでいるものが国家の伝統や文化をつくりだそうとする流れの中に位置づけられることを読み取ることが読解の鍵になる。小問の構成は記述説明が2問、英文和訳が1問、同義語選択が1問(4語句)、選択式の内容合致が1問。

問1 英文和訳 解答欄は5行

注意点は大きく分けて2つ。【1】関係代名詞 which の非制限用法。ここでは先行詞 cookbooks の補足的な説明が関係詞節でなされている。関係詞節内は動詞 bring と refine が both…and…で並べられている。【2】bring together [A] into [B] ([A]を寄せ集めて[B]にする)、refine [A] into [B] ([A]を[B]へと洗練させる) という2つの動詞句を見抜く。特に後者は[A]に相当する部分が what から始まる名詞節になっているので、この名詞節の範囲を正確に確定する必要がある (different versions までが what 節)。

問2 下線部説明（日本語） 解答欄は6行

下線部(B)を含む文の意味は「そうすることによって、工業化は、しばしば新たに国家として定義された特定の地域においてより均一化された食事の型を作り出すのに役立ち、国家の斉一性に対する新たな感覚を生み出すのにも役

立ったのである」。設問は下線部(B)が具体的にどのようにして作り出されたかを問うている。下線部をつくり出したのは主語の industrialization だが、その具体的な内容は文頭の In so doing が指示する前文で述べられている。解答としては、工業化が食事に対して与えた数多くの影響の具体例 (a whole cascading series of effects on diet:以降の文章) を挙げる。

問 3 下線部説明 (日本語) 解答欄は 2 行

下線部(C)を含む文の意味は「この内へと向かう志向は「古い」国家でも「新しい」国家でも生じる」。inward はここでは形容詞で「内部の」「内部への」。orientation は「方向づけ」を意味する名詞だが、ここでは思想的な方向づけ (志向、態度) を意味している。この inward orientation は次の段落冒頭にある the national shift can also serve to look outward, to present nations to a wider international audience と対比させられている。つまり、look outward (外部へと目を向ける) が「国家をより幅広い国際的な聴衆に向けて示す」のに対し、inward orientation は国家 (という概念) を国内の人々に向けて示すことだと考えられる。さて、下線部中の指示語 this に注目すれば、直前で述べられている事柄を指していると考えられるが、その該当箇所の範囲を絞り込むのが問題になる。というのも、下線部(C)の直前の文だけでは inward の説明としては不十分だからだ。そこで、次段落の look outward との対比から、下線部(C)の 2 文前の to present conceptions of national cuisines, ...to the citizens of these nations に注目し、解答をまとめる。

問 4 同義語選択

(1) illuminate は他動詞で「～を照らす」「～を明らかにする/解明する」を意味する。ここでは目的語が the foods と the nations であることから (ア) portray 「描き出す」「説明する」。

(2) explicitly は副詞で「明白に」を意味する。(エ) specifically は「特に/とりわけ」以外にも「明確に」「具体的に」という意味がある。

(3) disjuncture は名詞で「分裂」を意味する。該当段落の初めに出てくる junction が「接合」を意味し、その対義語である。(ア) split が名詞では「裂け目」「分裂」を意味する。

(4) melding は、「混合する」を意味する動詞 meld の動名詞。同じく「混合する」を意味する動詞 blend の動名詞である (ウ) blending が最も近い。

問 5 選択式の内容合致 (6 つの選択肢の中から 2 つを選ぶ)

(ア) 「Eric Hobsbawm と Benedict Anderson は、料理本はその国の構成員の目から見てその国を定義するのに役立つような国を代表する料理を作り出すのに重要なものではない、と考えている」。第 1 段落の第 2 文に一致しない。

(イ) 「Stephen Mennell は、料理本は国々の違いを示し、かつ、それらの国

々それぞれに特有の多様な料理や食事の仕方を提示する、ということを示唆している。」第1段落第6文に一致する。

(ウ)「『台所の科学と上手に食べる技術』はトスカナ地方とエミリア・ローマ地方の料理に打ち勝った。なぜなら両者はどちらもイタリア料理だからである。」第3段落の後ろから2文目に一致しない。

(エ)「19世紀初めの有名な専門的料理人たちは、18世紀の『王室とブルジョアの料理人』と並んで中流階級の間でフランスの上流階級の食事を流行させるのに役立った。」第4段落第3文に一致する。

(オ)「国家の正統性の概念は、レストランが正統なフランス料理の考え方をフランスの内外で駄目にしていたので、たいして役に立たなかった。」第4段落の後ろから2文目に一致しない。

(カ)「Benedict Andersonは、19世紀の新しいアメリカの諸国家は国家の伝統と文化を打ち立てるのを促すために植民地時代の名残である行政単位にもっと頼るべきであったと考えている」。最終段落第2文では「もっと頼るべきであった」ということは述べられていない。

【個別分析設問Ⅱ】 長文読解

出典は Tom Roeper の The Prism of Grammar: How Child Language Illuminates Humanism。テニス選手が自信を無くしたことで体がうまく動かず試合に負けた、という例から始まり、曲芸師のジャグリングやコメディアンのジョークの例を挙げながら、人間の感情や知的能力と身体の動き・行動とを結びつける能力を、瞬時に生じる思考や行動を可能にする仕組みとしての formula (この単語自体には「公式」や「秘訣」「製法」などの意味がある)として論じている。小問の構成は記述説明が2問、英文和訳が1問、文挿入が1問、空所補充が1問(4語句)。

問1 下線部説明(日本語) 解答欄は3行

下線部(A)を含む文の意味は「このテニス選手の精神はどれほど正確にこの小さな出来事を受けとめ、この出来事を絡み合った人格の全体に広め、そうして今度はわずかな筋肉にいつもとは違う仕方で反応するように指示していたのだろうか」。指示語 this に注目して、直前で述べられている出来事を要約する。第1段落の第5文に This is really an ordinary event, …とあり、この this が指す第3文が出来事の内容だとわかる。下線部(A)の small は ordinary とほぼ言い換えられるような「(日常的によく起きるという意味での)些細な」を表すと考えると語句の繋がりが見えてくる。

問2 下線部説明(日本語) 解答欄は6行

下線部(B)は「ほとんどの人々はお手玉を使った曲芸(ジャグリング)ができ

ない」。下線部の直後で「なぜこれらの能力では私たち皆が曲芸師になるのに十分ではないのか」と問題提起がなされた上で、「その答えは…」と続く。それゆえ、下線部(B)のように主張する理由は The answer is that…以降の内容になる。該当箇所は「第三の能力が存在し、この能力によって二つの本質的に異なる能力を連動して監視する(joint monitoring)ことが可能になる」。ここで述べられている「二つの本質的に異なる能力」は、下線部(B)の前であげられている two ingredients すなわち正確な高さまで球を放り投げる能力と、正確な時間を測る能力である。段落最終文では多くの曲芸師が素早く球を追加できるのには、定義はできないがおおよそ「協同」と呼ばれている、ある秘訣(a formula)があるということが述べられている。この秘訣が第三の能力に相当することは類似した文意 (there exists a third ability と a formula…is present) から推測できる。

問3 文挿入

下線部(C)は直前で述べられている「重大な疑問」に相当する事柄。コロン記号が言い換えの役割を担っている。直後の文では「この疑問の後半に答える」とあるので、その内容から入れるべき文を推測する。そこでは、「確かに曲芸師は私たちが全員は持っていないものを持っているように見えるが、おそらく私たち一人一人は他の誰も持っていないものを持っていることだろう。……あらゆる個人は自分の行動を導く独自の秘訣を持っているものなのだ」と述べられている。これは曲芸師が他の人にはない独自の秘訣を駆使しているのではないかと、という独自性・特異性に関する疑問に対する考察だと推測できる。これに対応するのは(ア)。また、下線部の3つ後の文では「元々の疑問の前半は答えないままにしておこう」とある。但し、その後で「原理的に、私たちは皆あらゆる種類の精神的な秘訣を使いこなすことができるのかどうか」という補足があり、ここから「疑問」の前半では「私たち皆」に関わることが述べられていることがわかる。これに該当するのは(ア)と(エ)。このうち(ア)の latently は「潜在的に」という意味の副詞であり、これが本文の in principle に対応することから(ア)に絞り込むことができる。

問4 英文和訳 解答欄は5行

注意点は大きく分けて4点。【1】文全体の構造は Just as [S₁] [V₁]…, so [S₂] [V₂]…となっており、「[S₁]が[V₁]するのと同様に、[S₂]は[V₂]する」。2つの節のどちらも仮定法になっており、if から始まる条件節が付いている。【2】否定表現に注意して訳す必要がある。特に no thought or action…could work so fast のように no+名詞が主語になっている文を否定文として訳すのを忘れないようにする。【3】mechanism はカタカナ語(メカニズム)を避け、文脈に即して適切な日本語で訳したい。ここでは瞬時の思考や行動を可能にす

る秘訣 (formula) を表現する言葉として用いられており、下線部 (D) では機械 (machine) との類比で語られているので「仕組み」。**【4】** milliseconds は単数形であれば「千分の一秒」と訳せるが、複数形なのでそれがいくつか集まった「わずかな時間」「瞬時」。同じ段落の第 1 文にある fast thought が thought...that takes place in milliseconds に相当すると考える。

問 5 語句の空所補充

- ① 空所に当てはまる品詞は形容詞。選択肢の中で形容詞は (ア) と (ウ)。「テニスのサーブを可能にする筋肉の () な変化によって a foot out が生じる」というこの文の意味と、「運動能力全体は (自信がなくても) 基本的には影響を受けない」という前文との対比から、「小さな」を表す (ウ) tiny を選ぶ。次の文の microphysical states も空所のヒント。
- ② 空所に入る語句は our の後に続く名詞 (名詞句)。文の意味は「より大雑把に言えば、おそらく私たちに独自の内的な秘訣は、生まれつき設定されたものと () の両方の結果なのだと想定するのが自然であるように思われる」。この直前で文法の習得を例に挙げて、(1) 文法習得に必要な能力を私たちは皆、原理的に持っており、それに加えて (2) 自分の周囲の言語と関わる「経験」がどの言語の文法を学ぶのかを決める、ということが述べられている。ここから、(1) に相当するのが an inborn architecture、そして (2) に相当するのが空所だと考えられるので、(ア) の「人生経験」が当てはまる。
- ③ 空所に入る語句は covering word を修飾する形容詞。「似たような種類の内的調査が異なる領域を跨いで行われ、時折、人々は多様な精神状態を表す () な単語に辿り着くことがある」。この文の前半では similar と different が対比され、後半では空所と diverse が対比されている。但し、単純にもう一度 similar を入れて良いのかは検討する必要がある。コロンの後の具体例では、異なる状況でいずれも OK という 同じ 単語が用いられていることから、ここでは (イ) same を選択する。空所を含む文の後半に sometimes があることもヒントになる。一般的には「似たような」内的調査 (ここでは自分の精神状態を調査してそれを表現する言葉を選択することを指す) が行われるのだが、時には「同じ」言葉を使って多様な精神状態を言い表すこともある、という意味になる。
- ④ 空所に入る語は現在分詞 underlying と motivating の共通の目的語になる名詞。「曲芸師、コメディアン、そして私たちは皆、少しずつ違った秘訣、すなわち私たちの () の基礎となり、() を刺激する異なる種類の構成要素を持っているのだろうか」。直前のコメディアンの例ではジョークを言うことに相当するのが空所の内容になるので、(エ) actions。

【個別分析設問Ⅲ】 会話文＋意見論述英作文

大学の授業が始まる前にコンピュータを購入することになっていたのだが、まだ買っていなかった Matt と彼にアドバイスをする Nicole の会話文を読んで設問に答える問題。1)は会話中の空所 4 か所に適切な表現を選択する問題。文脈を把握する力と語句の知識が必要となる。2)は表に示された 3 つのコンピュータのどれを買うかを、最低 3 つの理由を述べて説明する自由英作文問題。それぞれの理由に少なくとも 1 つの個人的な記述を述べるという条件が付いている。一般的な話なら書いても、個人の話となると意外に書きづらい。

- 1) ①二人が会って最初の挨拶という状況と、Matt の返答が「実はよくないんだ」とあることから、「調子はどうだい？」にあたる c が正解。
- ②直前で Nicole が「授業が始まる前にコンピュータを買っておくようにと大学が言っていた」と述べているのに対する、Matt の返答。直後に「でも本当に忙しくて…」と新しいコンピュータを買わなかった理由を述べているので、d「そうすべきだったことはわかっているよ」が適切。I know that I should have の後に bought …が省略されていることを理解する。
- ③「私の今持っているコンピュータではそれらのどれもできないし、なにか楽しめること（ ）」。空所には「できない」という意味になるものを選ぶ。b「～は言うまでもなく」。
- ④ハードディスクの容量が重要だと話している文脈。空所の後の have to buy と合わせて考えると、a「私はハードディスクの容量を使い切りたくないが、（使い切ってしまうと）たった 2, 3 年後に新しいコンピュータを買わなければならない」。
- 2) A を選択した場合、理由としては「保証がしっかりしている」、「RAM のサイズに余裕がある」、「アクセサリは必要ない」などが考えられる。個人の記述としてはそれぞれ、「過去に購入直後故障した経験」、「今後様々な用途に RAM が必要になる可能性」、「すでにマウスもヘッドフォンも持っている」を挙げた。B は「RAM 容量と値段のバランス」、「ヘッドフォンは必要だが、ディスクドライブは不必要」、「過去の経験から保証は 6 カ月で十分」の 3 点をまとめた。C は「値段が一番安い」、「RAM 容量は 2 GB で十分」、「画面のサイズが大きい」の 3 点を自分の利用法と関連付けて述べてみた。
- 自由英作文で自分の主張の理由を列挙する書き方には慣れている生徒が多いと思うが、一般的な話になりがちなので、今回はあえて「個人的な記述」を必ず書かなければならない条件を設定したと思われる。

【個別分析設問Ⅳ】 和文英訳

受験生にとっては少々古風な、いかにも日本語らしい息の長い文なので、けっして楽には書けないかもしれない。単語や語句を意識するよりも、まずは主題を確かめ、日本文としての構文を把握できることが大切になる。少なくとも、主述関係を押さえ、従属的な句や節との結びつきを確認してから、英文への転換を工夫する必要がある。

- (A) ・「三十代以後のことを考えないということは、」-----「宙ぶらりんの状態に自分のみをおくことだ」を主節とみなす。
- ・主部も述部も、名詞句（不定詞か動名詞）を利用できる。でなければ、「三十代～」を条件節で始めて、「宙ぶらりん～」を主節にまとめてもいい。
 - ・「宙ぶらりん」は捉え直してみて、書きやすい表現にする。leave yourself in an indecisive attitude, leave the matter of your life unsettled, etc.
- (B) ・「十五歳くらいを、ぼくらは自分の知的スタートの時期としたいものだ」を主節に据える。
- ・「自我がつくられ、思考の基礎にある母語も確立される」を関係詞を用いて、文末に置く。あるいは、理由に読み換えて、主節につづけてもいい。
 - ・「知的成熟」: mental development, intellectual maturity, mental maturity, etc.
 - ・「知的スタートの時期」: the starting period of our own intellect, the time when we begin to think rationally of the goal of our life, etc.

東北大学の英作文は、少なくとも3行でひとまとまりの自然な日本文が2つ出題される傾向がある。普段から成熟した書き言葉の日本語表現に触れ、日本語の構文理解も深めておく必要がある。国語の勉強をしているときにも、興味深い表現があれば、英訳を試みる習慣を持つのも有益だ。また、英文読解では、問題演習の最後に要約を英語でまとめたり、和訳対象だったところを英語に復元してみると、英文らしい表現が身につく。あれこれ工夫して、英語で表現する喜びを深めてもらいたい。

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

【文系】

文学部	60 %
教育学部	60 %
法学部	65 %
経済学部	60 %

【理系】

理学部	65 %	歯学部	65 %
医学部	70 %	薬学部	65 %
保健／看護	60 %	工学部	65 %
“ 放射線	60 %	農学部	65 %
“ 検査	60 %	経済学部	65 %

3 来年受験する生徒へのアドバイス

今年度の出題全体に関して留意すべき特徴は次の2点。第一に、長文読解はいずれも難解な構文や語句はほとんど用いられておらず、英文を表面的になぞるだけであればそれほど苦労はしない。しかし、解答を作成するにあたって本文の該当箇所を日本語に訳そうとすると訳しづらく感じる箇所がいくつも登場する。辞書や単語帳に掲載されている語句の「訳」を機械的に当てはめるだけでは文の「意味」を正確に理解した解答は作れない。他年度の出題と同様、その文章全体を通じて何が問題とされ、その問題がどのように論じられているのか、という文脈（context）を掴み、それに基づいて適切な訳語を選択し、場合によっては言葉を補ってわかりやすく表現する技術が要求されている。第二に、Ⅲの(2)のように与えられた条件に従って自分の意見を英語で説明する問題は近年では定番の出題だが、personal detailをしっかりと解答に盛り込むことは今後も強く意識しておきたい。単なる本文の焼き写しや一般論の書き写しではなく、自分自身の視点や経験を英語で具体的に表現する練習を日頃からしておこう。